



# Weekly Report

2024-25



60<sup>th</sup>  
Anniversary

創立/1965年5月22日  
例会日/毎週木曜日 PM12:30~  
会場/江南商工会館1F 大ホール  
江南市古知野町小金112  
0587-54-8132

事務局/江南商工会館 別館1F  
TEL / 0587-55-6554  
FAX / 0587-59-7720  
URL / <https://www.kounan-rc.com>  
Mail / [kounanrc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kounanrc@beach.ocn.ne.jp)  
会長/南村 朋幸 幹事/三輪 慎一郎 会報委員長/横山 史明



2024年(令和6年) 9月 5日(木) 晴れ 第2810回(当年度第7回 例会)

点 鐘 会長 南村 朋幸君  
司 会 SAA 岩田 静夫君  
国家斉唱 「君が代」  
ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」  
ソングリーダー 長瀬 晴義君  
四つのテスト斉唱 伊藤 かね子君

- 言行はこれに照らしてから —
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介



米山奨学生 カオ リ イエン ニー 様  
ようこそ江南ロータリークラブへ！

会長挨拶

会長 南村 朋幸君



皆様、こんにちは。  
先週の台風騒動は進路の迷走と過熱報道の割には、幸い結果としては肩透かしに終わりました。来るぞ来るぞと言われ備え、大きい大きいと言われ警戒をして、結果として事なきを得る。これが繰り返される事によって、そこに「油断」が生じます。今回もどうせ大した事無いだろう、と思ったところに隙が生まれ災害の傷跡を深く残すこととなります。私たちは常に今回は今までのそれとは違う、という危機感を持って備えなければならないと強く感じました。台風や地震に対する備えを常日頃から整え、昔からの諺にある通り「災害は忘れたころにやって来る」を胸に刻み、毎回、報道の予報等に対し油断なく構えることが大切だと思います。いつの日か天災にこの地域も見舞われたとき、願わくば江南ロータリー会員及びご家族が罹災されないことを念じるばかりでございます。  
さて、本日の会長挨拶は本年度重点方針の7つ目「公共イメージ向上の為の取組強化」についてお話しします。

皆様は公共イメージ向上と聞くと何を連想されるでしょうか。

一般的には、読んで字のごとく公共と名がつくように、公＝対外に対する私たちロータリークラブのイメージ(印象)を向上させていこうという働きであると思います。

以前の例会で、公共イメージ向上常任委員長の濱島くんが卓話で述べていました。

かつては日本人特有の奥ゆかしさや慎ましさが美德とされ、日本のロータリーは大々的に広報活動や宣伝行為をすることに消極的であったが、これからは世の中に大きなインパクトを与えていくことも我々の重要な使命であると。

もちろん私たち江南ロータリークラブでも、従来から一定の広報活動は行ってきました。そのことにより、ある程度公共的なイメージが定着しているとしたら、次は何をしていけばいいのでしょうか。

ここに“向上”という言葉がキーワードになってくると思います。

向上とは今ある状態から更に上積みをしていくことを指します。本年度は更にそこに取組強化という言葉をつけ加えています。

これを実行していくポイントは、まずは WEB の時代においてクラブの顔とも言うべきホームページの刷新です。これは既に年度が変わった7月1日のタイミングに合わせてリニューアルを致しました。次にこれも時代を象徴するホームページと並び WEB 戦略においては必要不可欠な Facebook や Instagram の整備です。これは私自身もまだ発展途上の身なので、長けたメンバーと共に整備をしていく所存です。

そして、もう一つのポイントですが、公共メディア機関や報道機関との関係の強化です。これはロータリー章典にも明記されており、RI として推奨されている事柄なので本年度はこも力を入れていくよう仕向けていきたいと思っています。幸い当クラブには岩田静夫さんという心強い味方がみえるので力をお借りしながら進めていく所存です。

また、ロータリー章典の公共イメージ向上のページには、クラブは一般の人を招いての会合等も開くよう奨励されています。これは、本年度の周年事業、記念講演会と江南マルシェに該当すると思います。そういった意味では、この周年イヤーは公共イメージ向上にとって絶好の機会だと言えます。

それら全てのポイントを押さえ、江南ロータリークラブのブランディングにメンバー皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後に、先日の中部経済新聞に私のインタビュー記事が掲載されました。

何とも気恥ずかしい限りですが、記事はさて置き、この記事を目にした地区の公共イメージ向上委員会の古市委員長が自身の Facebook においてコメントを掲載されていたのでご紹介いたします。あくまでもこれは自慢ではなく客観的な視点で、公共イメージ向上取組の一例としてお聞きいただければと思います。

江南 RC2024-25年度会長の南村朋幸氏のインタビュー記事が中部経済新聞に掲載されました。

南村さんは2019-20年度地区幹事を務められています。また、RFFでは、ステージイベントにてサザンオールスターズの曲を熱唱。歌声もそっくりで多才な方です。今年度 RI 会長のテーマ「マジック オブ ロータリー」になぞらえて、会長方針を「Can lay key【環歴】～さあ、未来への鍵を見つけよう」として、これからの奉仕活動のポイントとなる新しい魔法の鍵を見つけたいとの意味をこめたそうです。また、クラブが60周年(環歴)を迎えたことにも掛かっています。ユーモア溢れる中に思いのこもった素敵なお話ですね。

とのことでした。

さて、今回の会長挨拶は重点目標の最後8つめ「地区クラブ優秀賞・ガバナー特別賞の獲得」についてご説明いたします。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

#### 米山奨学金授与



米山奨学生 カオリーエンニー様

幹事報告 -別紙- 幹事 三輪 慎一郎君

祝 福 副委員長 田崎 健一郎君

出席報告 委員 林 庸介君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	40名	8名	85.11%

ニコボックス 委員 松野 拓也君

○ロータリー／おおいに語って／楽しもう！

本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

南村 朋幸、永田 広光、三輪 慎一郎、北畑 祐二 各君

○本日、卓話で少しだけおしゃべりさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

古田 嘉且君

○本日のクラブフォーラム宜しくお願ひします。

波多野 智章君

○9/5(木)クラブフォーラム クラブ管理運営常任委員会 古田嘉且君、波多野智章君、田中健君、林庸介君 本日の卓話、宜しくお願い致します。

米山奨学生カオリ イエン ニーさん、ようこそ江南ローリークラブへ！

富永 典夫、杉浦 賢二、沢田 昌久、片平 博己、  
岩田 静夫、長瀬 晴義、中村 耕司、富田 清孝、  
木本 寛、山崎 博征 各君

**卓話**

クラブフォーラム クラブ管理運営常任委員会  
古田嘉且君 波多野智章君 田中 健君 林 庸介君  
「ロータリーを語ろう」



司会進行 波多野 智章君

① どうしてロータリーに入ったのか  
また、入ってどうだったのか



パネリスト 田中 健君

(田中君)

- ・ 社業でお付き合いいただいている会員の先輩がおり、お話を伺っていたとても敷居が高いと感じていたが、先輩の皆さまが色々とお誘いくださるなど大変良くしていただき安心した

(林君)

- ・ 会社の先輩に他クラブの方がおり、会社だけでなく地域社会に貢献するような活動も大切だというお話と共に誘って頂いていました
- ・ 自分などで大丈夫かと思っていたが、

皆さんが笑顔で話しかけてくださったこともあり、入会して1年が経つがようやく馴染んでられました



パネリスト 林 庸介君

② ロータリーに魅力を感じているか

(田中君)

- ・ たくさんの会員の皆様と人と人とのつながりが持てるようになることが魅力と感じている
- ・ 外から知り得ることができなかった様々な奉仕活動を知ることが出来て魅力を感じるようになっていった

(林君)

- ・ 活動期間が短く、はっきりとした魅力を感じる事が出来ているとは言えないが、数カ月前のクラブ運営協議会に入会3年未満の会員として参加させて頂き、活動の内容を知ることができてきているので今後も参加を続けながら魅力を感じられるようにしていきたい



パネリスト 古田 嘉且君

(古田君)

- ・ かつてクラブに在籍できるのは一業種につき一名となっていたが、それは複数業種がいては腹を割って話すことができず信頼が深まらな思考えられていたからだが、現在では複数の方が在籍できるようになっている
- ・ 多種多様な会員同士によるロータリー活動を通して信頼が深まり、社会奉仕に尽くす中で自身の成長につながっていくことが魅力である

- ③ ローター活動の柱として「親睦(親睦・親睦活動)」と「奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)」がありますが、それぞれについて今まで入会した中で意識したことがあったのか、また親睦と奉仕についてどのようなイメージを持っているのか教えてください。

(田中君)

- ・ クラブ奉仕についてしっかりと出席を自分の役割を果たしていくことを意識している
- ・ 弊社の理念として地域社会に貢献していくことというものを掲げている中で、江南市の中で声を上げ元気な江南市を作り上げていきたいと考えている
- ・ その他についてはまだまだ勉強不足で今後、しっかりと学んでいきたい
- ・ 親睦としてクラブの中だけでなく色々な方とつながっていけるところでしっかりと親睦を深めていきたい
- ・ ポリオ根絶、子ども食堂、交換留学生や米山奨学生への支援などを行っているということを理解することができた

(林君)

- ・ 入会のきっかけが地域社会に貢献したいというところだったので、クラブでの活動に参加することでそのような活動をしていきたいと考えている
- ・ 親睦については親睦委員会さんが企画してくださるものにも参加していきたい
- ・ まずは例会にしっかりと参加することが親睦を深めていくことだと考えます

(古田君)

- ・ 親睦とは信頼を深めること
- ・ 食事会や同好会などの親睦活動も大切だが、ロータリーでいう親睦とはお互いの信頼であるため必ずしも同意ではない

- ④ 本年度例会運営委員会委員長として田中君の方で様々な努力をしてくれていますが、田中委員長として例会を充実させる為にどんなことを心掛けていますか

(田中君)

- ・ 前年度の佐藤委員長が大変ご尽力される中でもご苦労が尽きないというところを傍で見させていただいた。皆さんが参加しやすい環境づくりを大切にしながら出欠の事前取りまとめなどをさせて頂いている
- ・ もっとやりたいこと、変えたいこともあるが出来ることから取り組んでいきたい

(古田君)

- ・ ローターの親睦の基本は例会参加にあるため会員の出席は大前提である
- ・ 欠席が続く会員には対策を取っていく必要がある
- ・ 服装自由化は結構だがロータリーバッジは付けるべきである

- ⑤ ローターの各種セミナーが「研修」という言葉から自ら学ぶ「ラーニング」に移行していますが、その意味合いについて古田さんから解説いただけますでしょうか。

(古田君)

- ・ かつては「研修」と言っていたものが今は「ラーニング」と変わったのは、会員にとって受け身ではなく、より成長へとつながる自発的な学びの場としていこうという意図をもってのこと

- ⑥ 最後の締めのお言葉

(古田君)

- ・ 親睦活動と親睦は同意ではない
- ・ 例会に参加し活動を続けていくことで親睦を深めていくことが望ましい

点 鐘

会長 南村 朋幸君

本日の食事



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は  
アカウントを作成してください。  
※アカウントがある方は  
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760

アプリダウンロードはこちら



江南 RC 会報 YouTube

チャンネル登録はこちら

写真等ございましたら会報までお知らせください。

(担当 横山 史明)